

上場企業の7割 経常増益

円安・訪日消費追い風

4～6月

上場企業の2015年4～6月期決算は、発表を終えた企業のうち7割が前年同期比で経常増益となった。自動車や電機大手は北米販売の伸びと円安が追い風で、小売りなど内需企業は訪日外国人による消費の恩恵を受けた。中国景気の減速は懸念として残るが、国内外の収益機会をどう捉え、着実に稼ぐ企業の裾野が広がっている。

中国景気は懸念

7月末までに決算を発売、訪日客によるインバウンド消費だ。日産自動車は北米の販売が過去最高となり、4～6月期として最も全体の半分強を占める。前年同期と比べて経常利益(米国会計と国際会計基準は税引き前利益)は28%増え、純利益は29%増えた。好業績の理由は主に3つある。北米需要の拡大、

円安、訪日客によるインバウンド消費だ。日産自動車は北米の販売が過去最高となり、4～6月期として最も全体の半分強を占める。前年同期と比べて経常利益(米国会計と国際会計基準は税引き前利益)は28%増え、純利益は29%増えた。好業績の理由は主に3つある。北米需要の拡大、円安(情報技術)関連が伸びた日立製作所は、北米の売上高が4割増えた。

稼ぐ地域によって収益に明暗 (4～6月期経常利益の増減率%、▲は減)

| 中国 | | 北米 | |
|------------|-------------------|----------|-------------------|
| JFE ▲17 | アジアの鋼材市況の低迷続く | 日本郵船 79 | アジア-米国航路の荷動きが最高に |
| コマツ ▲17 | 中国の建設機械販売が4割減 | 日産 45 | 北米で多目的スポーツ車が好調 |
| ファナック 13 | スマホ向け機械が低調で通期下方修正 | 日立製作所 23 | 北米でIT関連、自動車部品が伸びる |
| 日本 | | | |
| 三越伊勢丹 70 | 訪日客向け売上高が3倍に | | |
| 帝国ホテル 30 | 訪日客の利用で客室稼働率が上昇 | | |
| ANAHD 黒字転換 | 中国人の旅客数が倍増 | | |

円安・ドル高が利益を500億円強押し上げたホンダは「為替(円安)のおかげで収益は計画を上回るペース」(岩村哲夫副社長)という。内需企業の収益をけん引したのがインバウンド消費だ。資生堂は免税対応店で美容液や日焼け止めなどがよく売れ、国内

売上高は2割増えた。増収額の6割がインバウンド効果」(直川紀夫執行役員)。三越伊勢丹ホールディングスは首都圏の大型店に外国人客が押し

ANAホールディングスは、中国人客が倍増するなど国際線の訪日客が7割増えた。北米や国内が好調だった半面、苦戦が浮き彫りになったのが中国事業